



7月下旬は「大暑」や「酷暑」という言葉で季節を表現することがありますが、ここ最近の天候は程遠い状況です。しかし、3年生の夏は確実にやってきます。「大暑」や「酷暑」とは意味合いが異なりますが、それにも負けない「熱意」で進路活動に取り組んでください。



今夏、この時期に何をすべきか。

～進路指導部長 菅野忠信先生より～

周知の通り、新型コロナウイルス感染症の影響から、今年度は入社試験の開始時期が一月延期されて10月16日(金)からになりました。また大学・短大の入試においても様々な方法で多面的に受験生を評価する選抜方法に変わります。

入社試験や入学試験の本番に向けて、これから何をすべきなのかについて箇条書きにしてみますので、自己チェックシートとして活用してください。

【就職希望者】

□積極的に応募前職場見学をしよう。(原則として一人3社まで)

→応募前職場見学をすることで、企業理解を深めるとともに自己PRにもつながります。

□過去の「受験報告書」などから、入社試験(一般常識・作文・適性検査・面接など)に向けての傾向をリサーチして事前準備学習に活用しよう。

□履歴書や作文の書き方、面接対策などは早い時期に準備を始めるようにしよう。

「面接ノート」の作成など。

□就職試験に関する提出物などは記入ミスがないかを確認して期限厳守で!

□応募前職場見学や入社試験後のお礼状は早目に投函しよう。

【進学希望者】

□オープンキャンパスに参加して学校理解(学部・学科研究)を深めよう。(オンライン開催の場合もありますので、それぞれの実施方法に従ってください。)

□受験日程を明確に設定しよう。

□願書を含めたエントリーシートや志望理由書などの準備は時間的な余裕をもって行うようにしよう。

□過去の「受験報告書」などから、入学試験(筆記試験・小論文・面接など)に向けての傾向をリサーチして事前準備学習に活用しよう。



今後の予定

8月1日(土)	●オープンスクール
8月3日(月)～14日(金)	●夏季休業
8月17日(月)	●全校集会・一斉指導・登校指導
9月16日(水)	●就職推薦会議
9月30日(水)	●進学推薦会議
10月16日(金)	●就職試験開始



よしなしごと

～2組担任 中村 広生～

「希望」とは

とうとう進路を決定する時期に突入してきましたね。そんな学校では最近「第一希望」、「第二希望」、「希望する人は…」など「希望」という言葉をしばし耳にしますし、私自身も口にします。今回は少しそんな希望について考えてみました。

人間の感情を表した時よく「喜怒哀楽」という言葉を聞きますよね。しかし人間の感情というのは全部で12種類に分けられるそうです。そして、その分類でいくと「希望」というのも感情の中の一つだそうです。

希望は感情だと言われて、皆さんはどう感じますか。私は「あっ、自分の気持ちに素直になっていいんだ」と感じました。なぜかというと、「希望」ってもっと具体的なものに向かっていくものだと思っていたからです。たとえば、今の皆さんのように第一希望の企業を決めるように、「希望」とは具体的な対象でしか持てないのだろうと思っていました。しかし感情の状態の「希望」となると、なんだかワクワクしているという状態はありませんか?その仕事が好きでしょうがない。その進路に向かって自分を考えただけでウキウキしてくる。それは、ほぼ没頭に近いんじゃないかなと感じました。

皆さんがよく聞く曲の歌詞の一節だと、「希望って素晴らしいよね、みんな!」みたいな印象で終わってしまうと思います。そういう漠然とした希望ではなく、ステータスとしての希望の取り扱い方がちゃんとしていれば、必ずワクワクできるはずだと思います。

これからさらに、自分の進路実現に向けてやらなければいけないことが多くなってくると思います。そんな時、ぜひ皆さんにはウキウキ、ワクワクするような「希望」を持って、自分から前向きに取り組んでほしいと思います。